

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員と正社員を区別せず、均等待遇を求めよう。

均等待遇なくとも差別なく闘おう。

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

春闘アンケート結果報告

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙「みらい」
NO. 3547
15年4月28日(火)
・Fax 095-828-1953

おはようございます。

週末からの大雪、長崎地区では観測史上最大の積雪でした。降雪・積雪の中、配達業務にあたった社員の皆さん大変お疲れ様でした。車が入る道路では雪はなくなってきましたが、小路では雪が残っている箇所もあります。いつも以上に注意しましょう。

昨秋、皆さんにご協力いた



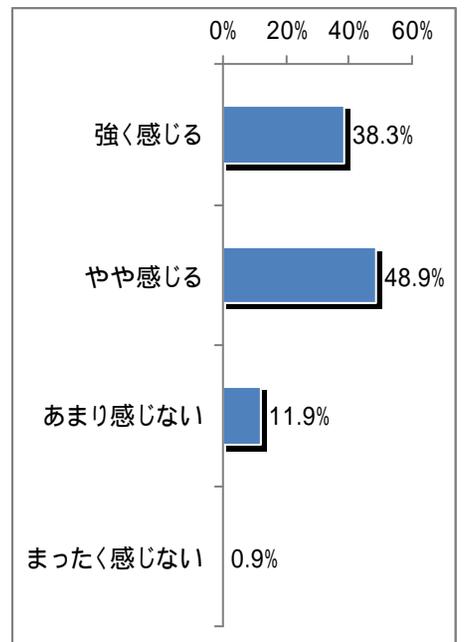
いただいた「16春闘アンケート」集約結果を報告します。
アンケート集約がマイナナー郵便業務と同時期となり多忙の中、多くの方に協力を頂きました。ありがとうございました。

アンケート結果については、春闘の要求内容や会社との交渉に活用させて頂きます。

今日は「今の職場に不満を感じることです。」

賃金や営業ノルマパワハラなど12項目の中で一番多い回答は「要員不足」でした。

正社員では25.1%の人が「要員不足」を選んだ。期間雇用社員でも「賃金が安い」よりも多い18.9%の人が選んでいます。

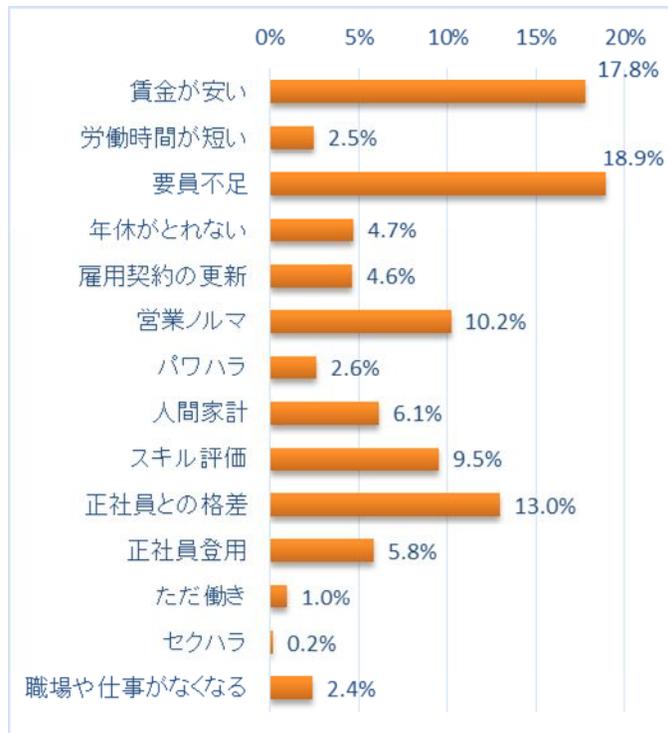


また「年休が取れない」「サービス残業」「ただ働き」の回答も要員不足ゆえの要因といえます。

さらに「職場生活でストレスや健康不安を感じる」という項目では「強く感じる」とやや感じるを合わせた回答が87%にものぼりました。

これらの回答からは、要員不足を根幹とした職場の荒廃状況が分かります。郵政ユニオンは毎年要員不足の解消を求め、全国大会要求として一般改善要求を行ない交渉しています。会社は職場実態に基づいた郵政ユニオンの要求を真摯に受け止め、早急に要員不足解消を行なうべきです。

日本郵便の宝は35万人を



第4回中央委員会の討論で16春闘を闘う

全国での闘いを提案していただきます。中央委員会の討論と、職場討議で、仲間と力いっぱい闘う16春闘をめざします。



明日から郵政ユニオン第4回中央委員会が東京で開かれます。支部は高口中執(支部長と山田書記)長が参加します。

本部議案では、昨年秋に成立した戦争法との闘いを基本に以下、1、賃金引き上げ、2、非正規社員の正社員化と均等待遇の実現、3、大幅な増員実現、4、郵政の公共サービス拡充、5、労働者の権利を守る、6、組織の強化拡大、7、戦争法廃止に向けたたたかいと位置づけ

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1 集-山本, 2 集-向井, 3 集-山田, 郵便-高田, ゆうちよ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。